

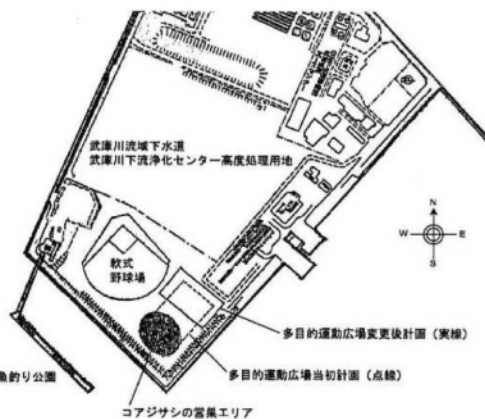
配慮の視点	種の多様性への配慮	配慮項目	野生生物の生息・生育環境の保全・創出																		
配慮事項	多様な緑地などの保全・創出																				
	騒音などの防止																				
配慮事例	営巣環境の保全																				
	生物の繁殖時期や集団渡来時の工事内容の検討																				
	鳥獣保護区内や野生鳥獣の繁殖地周辺での低騒音、低振動機械の使用																				
内容	<p><b>●生物の繁殖時期や集団渡来時の工事内容の検討</b></p> <p><b>【解説】</b></p> <p>野生動物の繁殖や採餌行動などは、工事や自動車走行に伴う騒音、振動、あるいは人の活動によって妨害され、生息条件が揃っていても人為的攪乱のある地域を回避したり、営巣を中止することもあります。</p> <p>したがって、地域に<u>生息する生物の繁殖時期や集団渡来時期を十分に把握し、必要に応じて工事实施期間や立ち入り制限区域の設定や、低騒音・低振動の重機の使用なども検討します。</u></p> <p><b>【具体的な工法・配慮事項】</b></p> <p><b>●鳥類の繁殖時期への配慮</b></p> <p>① 対象とする生物の繁殖時期を基に工事实施期間や立ち入り制限区域を設定します。</p> <p><b>●主な集団渡来時期への配慮</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な集団渡来種</th> <th>集団渡来時期</th> <th>渡来環境</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オオハクチョウ、コハクチョウ、カモ類</td> <td>11月上旬～3月上旬</td> <td>大規模な湖沼、ため池、河口</td> </tr> <tr> <td>シギ・チドリ類</td> <td>3月～5月・8月下旬～10月</td> <td>干潟</td> </tr> </tbody> </table> <p>① 水鳥の集団渡来時期には、水辺での工事や人の立ち入りに配慮します。</p> <p><b>●主な集団繁殖時期</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な集団繁殖種</th> <th>繁殖時期</th> <th>繁殖環境</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コアジサシ</td> <td>5月～7月</td> <td>砂礫地、河川敷、造成裸地等</td> </tr> <tr> <td>サギ類</td> <td>3月～6月</td> <td>樹林、竹林</td> </tr> </tbody> </table> <p>① 集団繁殖時期には、繁殖地周辺での工事や人の立ち入りに配慮します。</p>			主な集団渡来種	集団渡来時期	渡来環境	オオハクチョウ、コハクチョウ、カモ類	11月上旬～3月上旬	大規模な湖沼、ため池、河口	シギ・チドリ類	3月～5月・8月下旬～10月	干潟	主な集団繁殖種	繁殖時期	繁殖環境	コアジサシ	5月～7月	砂礫地、河川敷、造成裸地等	サギ類	3月～6月	樹林、竹林
	主な集団渡来種	集団渡来時期	渡来環境																		
	オオハクチョウ、コハクチョウ、カモ類	11月上旬～3月上旬	大規模な湖沼、ため池、河口																		
	シギ・チドリ類	3月～5月・8月下旬～10月	干潟																		
	主な集団繁殖種	繁殖時期	繁殖環境																		
	コアジサシ	5月～7月	砂礫地、河川敷、造成裸地等																		
	サギ類	3月～6月	樹林、竹林																		

●低騒音・低振動の重機や工法の使用

施工機械	主要機械名	騒音・振動除去・緩和方法
掘削運搬機械	ブルドーザー	○エンジンに防音カバー、消音器の取付け ○エンジンを電動モーターにする ○タイヤ式にする
掘削機械	クローラー式ショベル	○防音カバー、消音器の取付け ○エンジンを電動モーターにする ○タイヤ式・ホイール式油圧ショベルを使用
積み込み機械	クローラー式ローダー	○防音カバー、消音器の取付け ○エンジンを電動モーターにする ○タイヤ式・ホイール式ローダーを使用する
運搬機械	ダンプトラック	○排気マフラーの取付け ○ベルトコンベヤー、パイプラインの適用
クレーン物上機械	トラッククレーン	○クレーン用エンジンを電動化する ○油圧式クレーンを適用する
締めめ機械	ロードローラー バイブレーションローラー	○タイヤ式ローラーを適用する
せん孔機械	さく岩機	○防音カバーの取付け ○油圧化を図る ○他の静的破壊機械を適用する
コンクリート機械	トラックミキサーコンクリートポンプ	○装備動力伝送装置(歯車など)に消音器を取り付ける
コンプレッサー	定置式コンプレッサー ポータブルコンプレッサー	○防音建屋の設置、防振パースの据付け ○防音カバーの取付け、電動モーターの使用

① 低騒音、低振動の施工方法や低騒音型建設機械を選択すべきことなどを「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」として定めており、所要の条件を満足したものを、低騒音型建設機械として指定しています。

【事例】



出典:1

【場所】

兵庫県尼崎市

【環境配慮の内容と方法、工法】

- ・尼崎市が軟式野球場と多目的広場の整備を計画していた武庫川河口地において、コアジサシが営巣しているのが確認された。
- ・6月中旬に着工する予定であったが、コアジサシの繁殖時期と重なるため、着工時期を2ヶ月程度遅らせた。
- ・抱卵中の親鳥へのストレスを緩和するため、最東端の巣から30mの距離を隔ててフェンスを張り、人の立ち入りを制限した。
- ・営巣エリアを残すため、暫定的に多目的広場の整備面積を変更した。

留意点

- ・鳥類の場合には、定期的に抱卵や巣立ち状況を確認し、全てが巣立ったのを確認した上で施設整備に着工する。

参考資料

- 1 「神戸市鳥類保全対策指針」神戸市環境局
- 2 「解説 配慮事項の事例と具体的な考え方 北海道環境配慮指針〔公共事業編〕 一道が行う公共事業環境配慮ガイドライン」北海道